



私を平和のために用いてください

終戦から80年を迎え、8月は全国各地で様々な平和のための式典や催しがありました。争いのない世界が来ますように、と心から私も祈りました。現在も世界各地で争いは絶えません。戦争の開始を決意する為政者は、国を守るという理由で決意するのだと思いますが、一度戦争が始まると、国民は自国も相手国も悲惨を味わいます。家を失い、傷

を負い、飢えと渇き、死。想像以上の現実でしょう。以前 NHK のテレビ番組で、同時多発テロ後にアフガニスタンの戦争に従軍したアメリカの兵士は、戦死者より帰還して自殺した兵士のほうが多いと述べていました。今もそうした人々が増え続けいているのだらうと思うと、なぜ戦争を、と思わずにはいられません。

私達の修道院で毎日唱えている祈りに「平和の祈り」というのがあります。「神よ、

私をあなたの平和のために用いてください」という言葉から始まります。人と人がなぜ争うのかという思いが私の中に起こる時、私も何かをしなければならないと強く思います。私にできることは何だろう。それは身近な人間関係から始まるのだと思います。違いを受け入れ認める。間違いがあったら謝り、また赦す。感謝する。そして一歩進んで共感する。共に歩む、手を携える。いつもこのように生きるのは難しいこと

もわかります。私の中に不和や怒りの感情もうごめいていますから。でもこの感情に覆われず、難しさに抗っていく勇気と覚悟が求められます。まず私の中に平和を。そして私の思い、言葉、行動が平和のためになりますように、私が平和の道具となれますように。8月は終わりましたが、平和への思いはいつも携えていなければならないと思います。

(院長 山中淳子)



七夕かざり

七夕が近づいたころ、リハビリ室前に笹の枝を準備しました。6月に職場体験に訪れた中学生が七夕の飾りを作成してくれました。患者さんは、思い思いに短冊に願い事を書き、枝に結びつけました。



ワックスがけ

院内のワックスがけが行われています。階段は冷房がなく、とても暑い中での作業でしたが、手際良く黙々と仕事をこなしていました。



研修医紹介

久留米聖マリア病院より研修医が来ています。



おおかわ まや 先生 Dr. Okawa Maya

9月の初めまで地域研修でお世話になります。初期研修医の大川と申します。五島に来るのは今回が初めてですが、美しい海や美味しいごはん、温かい方々に日々魅了されています。ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、2か月間よろしくお願いいたします。

Profile

◇出身地…福岡県

◇趣味…おいしいものを食べること、旅行、音楽、
バンドのライブやフェスに行くのが好きです

◇志望科…麻酔科

◇研修期間…令和7年7月13日～9月6日

研修会に参加して

事務長 田崎幸一

2025年度お告げのマリア修道会施設主任研修会に参加させていただきました。この研修会は、修道会が運営する保育所・児童養護施設・介護施設・病院の主任が集まり、各事業所が果たすべき役割を確認し、現状報告などを行うものです。テーマは、今年度の活動方針『楽しい職場、希望のあかし』に因んで、1日目に下窄優美会長様と古巣馨神父様による講話が行われ、2日目は、聖年の期間ということで、市内の巡礼指定教会を訪問しました。

下窄会長様の講話では、『笑顔・希望』についての話がありました。その中で、『人任せにしている人には希望は生まれない』という言葉が非常に心に刺さりました。「誰かがするから私には関係のないこと」と思っている人は少なくないと思います。私もその一人ですから。しかし、起こること・聞くこと・見たこと全て我が事と思い関わることで、希望が生まれ、病院理念である「自分を愛するように、他人を愛しなさい」につながっていくのではないかと感じました。

また、古巣神父様の講話では、体験談を通して、心のありようについて考えさせられました。私達は日々多忙な中で生

活をしています。時間に追われた生活では心のゆとりを失い、他者からの要望に「ごめん、あとで!」「あとでするから待って」などの負の言葉が発せられます。しかし、求めている人は、『今』つらい思いを聞いてもらいたい、『今』辛いからなんとかしてもらいたい、と思っています。キリストの言葉に「人里離れたところへ行って、しばらく休むがよい」とあります。人は静けさが戻れば、我に帰ることができます。我に帰ると、他者を思う隙間が生まれます。その隙間を作るためにも、静かな時間、落ち着くひとときを持つことが必要なのだと感じました。この研修は、お告げのマリア修道会の本部で行われました。部屋にはテレビはなく、ましてWi-Fiなどありませんでした。久しぶりに音のない静かな空間で一晩過ごすことによって、私自身、少しだけ人のことを思う隙間を作れたのではないかと思います。

2日目の教会巡礼は、土砂降りに遭い、道路は冠水し対向車とすれ違うたびに大量の水を浴びるような状況でしたが、巡礼教会へ到着する頃には、雨もおさまり良い巡礼となりました。





9月18日(木) バーベキュー

10月26日(土) ロザリオの集い

次回発行日は令和7年11月1日です。

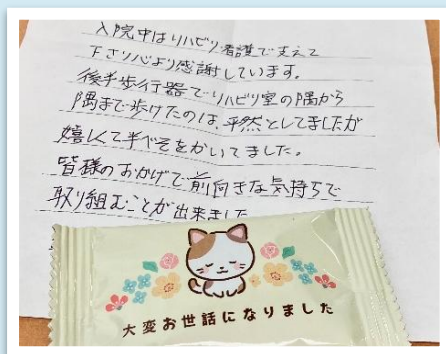
第2回聖マリア病院フェスタのご案内

令和7年11月2日(日) 10時~12時

病院で働く各専門職のスタッフが、実技や体験を通して仕事の魅力を伝えます。病院で働く人に興味がある方や将来、医療従事者になろうと考えている方は是非参加してみてください。



今月の写真



リハビリを終え、退院した患者さんからお手紙をいただきました。そこには、諦めかけていた歩行ができた時の感動とスタッフへの感謝の言葉が綴られていました。心身ともに元気になられてよかったです。

編集者より

早い梅雨明けで水不足が心配されましたが、8月の降水量は平年を超えていたようです。雨を表現する日本語は400にもものぼるといいます。五月雨や穀雨、時雨など季節ごとの雨、驟雨、鬼雨などの激しい雨、霧雨や小糠雨などの細かい雨など、自然の恵みとしての雨は、日本人の生活に深く結びつき、文学や物語の中で豊かに表現されていったのでしょう。雨の日は憂鬱になりがちですが、本に親しみ雨の表現を覚えると、雨音に聞き入り、季節の変化を感じるようになるのかもしれない。しばらく休んでいた読書を再開してみようかと思う夏の終わりです。(編集者)